

会 議 録

会議名	平成 28 年度石浜西児童館運営委員会	
開催日時	平成 29 年 1 月 26 日（木） 午前 10 時 00 分から午前 11 時 30 分まで	
開催場所	総合子育て支援センター 交流サロン室	
出席者	委員	平林石浜区長、山田県営住宅自治会長、 青木石浜西小学校校長、中村主任児童委員、 酒井民生・児童委員地区長、平松交通指導員、 浦谷児童クラブ保護者代表
	事務局	神谷児童課長、杉浦指導保育士、新家保育係長、 石川総合子育て支援センター所長、早川館長
欠席者	田中東浦中学校校長、水野ボランティア	
議題	1 平成 28 年度児童館活動状況について 2 平成 29 年度児童館活動計画について 3 その他	
傍聴者の数	0 人	
審議内容	1 あいさつ 児童課長 石浜区長 参加委員の自己紹介 2 議題 事務局が資料に添って説明 （1）平成 28 年度児童館活動状況について （2）平成 29 年度児童館活動について （3）その他 質疑応答および意見交換を行う。 事務局 児童館運営が児童クラブ中心に動いており、見直しが必要 となっている。今まで 7 館全体で色々な変更を行ってきた が、地区によって状況が違うため難しいところもある。で きるところから児童クラブの小学校空き教室での開催を進 めていきたい。 委員 石浜西小学校では、平成 32 年には一学年 2, 3 クラスにな り、教室が足りなくなる。足りなくなる状況は学校教育課	

	にも伝えてある。プレハブを建てるのか、校舎を建てるのかは未定。何かしらを建てる時に児童クラブの部屋も作ってもらえると良いと考えている。 委員 県営住宅も建て替えが進み、若い子育て世代が入ってきてくれることを望んでいるが、なかなか増えない。年配の世帯が多く、その世帯も外国の人と生活する事の免疫がなく、対応できず引っ越してしまうことも多い。3街区の建て替えがどうなっていくのかまだ具体的な話はない。 委員 南ヶ丘も宅地はまだ残っているが、地主が抱えていて急激に増える見込みはない。 事務局 来年度の児童クラブ申し込み書配布が先日終わったが、定員以上の方が取りにきた。今後6年生まで対象児を広げていきたいという考えもあるが、現状、定員を増やすことは施設の大きさからできない。運営場所は小学校とも話をしているといかないといけない。 事務局 児童クラブが主になっているため、部屋をなかなか貸し出すなどできない現状はあるが、高齢者の方々にも児童館を使っていたきたい思いはある。 委員 児童館という名前がダメなのではないか。老人憩いの家もその名称から高齢者しか使えないのではないかと考えているという声を聞いた事がある。補助金をもらっている関係で名称は変えられないのではないか。 事務局 昔は補助金の関係で名前を変えられなかったが、今は違う目的を加えても良くなった。中身を多目的に使っていき、名称を変えることも可能になった。考えていきたい。 委員 以前の運営委員会で高齢者に利用してほしいという声があり、人を集めて隣の子育て支援センターに来たが、ここへ入るまでの敷居が高かった。 支援センターの事業のねんねコースの手伝いをさせてもらっている。参加してくれる人の数が少なくなっているが、今後もやっていきたい。 事務局 地域の人がいてくださるだけで、雰囲気は温かくなり、子どもも喜んでいる。来て下さっていて本当に助かっている。
--	--

	委員 子どもたちの居場所がない。空き地で子どもたちが遊んでいてうるさいという苦情がよく入る。遊び自体はそんなに悪いことはしていない。学校の校庭で遊んでも良いのだが、離れた学校まで遊びに来る子どもはいない。 委員 団地内の富士山公園に遊びに来る子どもたちは多い。吹付西公園や、保育園横のグラウンドで遊ぶ子どもはほとんど見ない。団地の中でかくれんぼをする子や鬼ごっこをしている子がいると苦情が入る。公園によってはボール遊びが禁止というところも増えてきている。多少目をつぶっているが気になる人はすぐに苦情を入れてくるため子どもは遊べない。 事務局 子どもたちの居場所の一つとして児童館も遊びを充実させていきたい。 委員 今年度から 7 時 30 分から 19 時まで児童クラブの開設時間が長くなったのはありがたい。夏休み期間の利用料が 1 万円に上がったのは驚いた。時間が短くても同じ料金なのは不公平感があるのではないかな。 事務局 利用時間が延び、厚生員の賃金の問題もあり、利用者にも負担をお願いするという形で料金を改定させていただいた。利用時間によって金額を変えていくということも今後声が広がってきたら反映していきたいと思っている。しかし、すぐに変わっていかないという部分もある。 事務局 今年度より、ブックスタートが始まった。保健センターと図書館、児童館が協力しあい、4 か月、1 歳 6 か月の検診を受けた時に引換券を渡し、図書館や児童館で引き換えをしている。なかなか地域に打ち解けられずひきこもることを防ぐため、図書館と児童館で受け取れるようにして、町の施設を利用してもらおうきっかけにしたが、利用が少ない。今後の課題である。 委員 どの地区にブックスタートの対象となる子どもがいるのか、どの地区が引き換え率が悪いのかなど情報を出してくれないと働きかけができないのではないかな。 事務局 連携も含め、検討していきたい。 委員 赤ちゃん訪問を行っているが、石浜西児童館のひよこっこ
--	---

	の日のカードは渡していない。支援センターと併設であることから十分にPRできているという考えであったが、ひよこっこの日の石浜西地区の参加が少ないということだったので、これから配っていく協力はある。 事務局 貴重な意見をいただいたお礼を言う。今後よりよい運営ができるよう努めていきたいこと、今後ともご協力をお願いしたいことを伝える。
備考	児童館の活動、ひよこっこの日の活動の様子を写真で見てもらった。